



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 ウェルス・マネジメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3772 URL <https://www.wealth-mngt.com>
 代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）千野 和俊
 問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員広報・IR部長 （氏名）高濱 芳仁 TEL 03-6229-2129
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,342	△6.5	△398	—	△1,005	—	△20	—
2026年3月期第1四半期	3,573	88.2	△543	—	△793	—	△574	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △19百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △574百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△1.06	—
2026年3月期第1四半期	△29.97	—

（注）2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	89,281	17,269	19.3
2026年3月期	89,301	17,672	19.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 17,265百万円 2026年3月期 17,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2027年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	39.0	—	—	—	—	1,800	—	93.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）不動産事業における個別取引の形態により利益計上区分が変動し、営業利益及び経常利益の合理的な予想が困難であることから、今期より業績予想は売上高および当期純利益のみを公表するものであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）－

除外 1社（社名）株式会社美松

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	19,179,800株	2026年3月期	19,179,800株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	1,280株	2026年3月期	1,278株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	19,178,522株	2026年3月期1Q	19,178,522株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢や金利動向等については、市場への影響に留意すべき状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境においては、建築費・人件費等の上昇が継続しているものの、優良不動産への投資需要は底堅く、不動産価格は高水準で推移しております。特に、堅調な宿泊需要を背景にホテル市場は良好に推移しており、ラグジュアリーホテルをはじめとする優良なホテルアセットに対する投資家の投資意欲も引き続き旺盛であることから、事業機会の拡大が期待される環境が続いております。

このような事業環境のもと、ホテル運営事業では、開業3年目を迎えた2ホテルの稼働率が着実に向上し既存ホテルの業績は概ね良好な水準となった一方、ホテルのポートフォリオ入れ替えの影響により、ホテル運営事業全体の売上高は前年同期をやや下回りました。アセットマネジメント事業では、運用資産に係る安定的な報酬収入の計上に必要な収益基盤の維持に努めてまいりました。また、不動産事業では、将来の収益機会の確保と保有資産の有効活用に向け、保有物件および開発物件の取得・売却に向けた活動を継続しました。当第1四半期連結累計期間では、こうした取り組みの一環として匿名組合出資持分の譲渡を実施いたしました。当該取引は不動産事業の一環として行った営業取引ではありますが、売却価額を売上高に計上するのではなく、譲渡利益を特別利益として計上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高3,342,632千円（前年同期比6.5%減）、営業損失398,407千円（前年同期は営業損失543,751千円）、経常損失1,005,369千円（前年同期は経常損失793,345千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失20,359千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失574,791千円）となりました。収益貢献度の高い不動産事業における大型案件は、第2四半期以降の利益計上を見込んでいることから、当第1四半期連結累計期間では親会社株主に帰属する四半期純利益の計上には僅かに至りませんでした。引き続き、各案件の着実な進捗と収益への貢献に向けて取り組んでまいります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

セグメント		前第1四半期連結累計期間 (自 2025年 4月1日 至 2025年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年 4月1日 至 2026年 6月30日)	増減率
		金額 (千円)	金額 (千円)	(%)
ホテル運営事業	売上高	3,266,011	3,124,513	△4.3
	営業利益	1,120,353	931,542	△16.9
アセットマネジメント事業	売上高	140,169	179,382	28.0
	営業利益	△130,340	△127,213	—
不動産事業	売上高	215,264	145,204	△32.5
	営業利益	△1,325,204	△918,164	—

(注) 1. セグメント間取引は相殺消去しておりません。

2. 増減率について、当四半期・前年同四半期の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「—」と記載しております。

(ホテル運営事業)

ホテル運営事業が属するホテル業界におきましては、前年に開催された大阪・関西万博の反動減に加え、航空便の減便や中国市場の回復の遅れなどを背景に、日本政府観光局(JNTO)が公表した当第1四半期連結累計期間の訪日外客数は1,040万人となり、1,000万人を超える高い水準を維持したものの、前年同期を下回りました。

当社グループにおきましては、こうした環境下におきましても、開業3年目を迎えた2ホテルの稼働率が着実に向上し業績への貢献が拡大するなど、既存ホテルの業績は概ね良好な水準となりました。一方で、ホテル運営事業全体の売上高につきましては、大阪・関西万博による一時的な需要増を背景に高稼働で推移していたアロフト大阪堂島の運営受託終了の影響により、前年同期をやや下回りました。今後も、開業3年目の2ホテル、昨年10月に開業したホリデイ・イン&スイーツ札幌大通公園を始めとするランプアップ期間中のホテルの売上拡大を見込んでおります。とりわけ、ホリデイ・イン&スイーツ札幌大通公園につきましては、冬季の需要期における売上への貢献が期待されます。引き続き、各ホテルの認知度やお客さまの評価を高め、収益力向上に取り組み、ホテル運営事業全体の着実な業績拡大を目指してまいります。

運営ホテル売上高の推移

(単位：千円)

		運営ホテル売上高	対前年同期増減率
前第1四半期	(自2025年4月1日～ 至2025年6月30日)	3,242,475	92.1%
前第2四半期	(自2025年7月1日～ 至2025年9月30日)	2,058,631	38.5%
前第3四半期	(自2025年10月1日～ 至2025年12月31日)	2,865,880	9.7%
前第4四半期	(自2026年1月1日～ 至2026年3月31日)	2,190,719	6.2%
当第1四半期	(自2026年4月1日～ 至2026年6月30日)	3,085,301	△4.8%

(注) 1. 運営ホテル売上高は、当社グループが運営しているホテルの管理会計上の売上高を合算したものであり、ホテル運営事業の売上高とは一致いたしません。

2. セグメント間取引は相殺消去しておりません。

(アセットマネジメント事業、不動産事業)

アセットマネジメント事業及び不動産事業が属する不動産市場におきましては、資材価格や設備工事費等の高騰に加え、人員不足等を背景として、開発コストの上昇や工期の長期化懸念が継続しております。一方で、上期の訪日外客数は前年同期を下回ったものの宿泊需要は高い水準で推移しており、国内投資家を中心にホテルアセットへの投資意欲は引き続き底堅く、金融機関の融資姿勢も案件を選別しつつ概ね前向きに推移しております。

当社グループにおきましては、アセットマネジメント事業において継続的に毎月計上される報酬により売上高は前年同期を上回りました。また、不動産事業においても、4月23日付開示のとおり、イビス大阪梅田の匿名組合出資持分の譲渡に係る利益を特別利益として計上しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態については、総資産89,281,591千円、負債72,012,502千円、純資産17,269,088千円となりました。

総資産については、前連結会計年度末に比べ、20,314千円減少となりました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ、383,213千円増加となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ、403,527千円減少となりました。これは主に配当金の支払い等により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日公表の2027年3月期の連結業績予想(通期)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872,371	4,530,532
売掛金	1,408,171	1,462,468
販売用不動産	42,861,035	42,887,146
仕掛販売用不動産	23,553,890	24,294,666
未収還付法人税等	1,496,586	1,505,636
その他	1,631,721	1,978,579
流動資産合計	75,823,777	76,659,029
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,575,046	1,575,341
減価償却累計額	△139,008	△161,156
建物（純額）	1,436,038	1,414,184
構築物	40,000	40,000
減価償却累計額	△2,555	△3,407
構築物（純額）	37,444	36,592
工具、器具及び備品	407,179	400,844
減価償却累計額	△153,019	△160,937
工具、器具及び備品（純額）	254,160	239,907
土地	270,586	270,586
有形固定資産合計	1,998,229	1,961,271
無形固定資産		
のれん	166,164	131,375
その他	157,044	164,784
無形固定資産合計	323,208	296,160
投資その他の資産		
投資有価証券	8,687,310	7,839,949
繰延税金資産	936,293	931,128
その他	1,533,086	1,594,051
投資その他の資産合計	11,156,690	10,365,129
固定資産合計	13,478,128	12,622,561
資産合計	89,301,905	89,281,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,580	403,565
短期借入金	7,431,126	9,193,574
1年内返済予定の長期借入金	20,795,258	20,592,129
未払法人税等	123,262	31,992
賞与引当金	225,197	151,768
株主優待引当金	93,000	113,000
その他	3,582,548	3,082,855
流動負債合計	32,506,972	33,568,885
固定負債		
長期借入金	26,410,389	25,741,109
ノンリコース長期借入金	3,000,000	3,000,000
株式報酬引当金	136,603	128,147
匿名組合出資預り金	9,080,000	9,080,999
繰延税金負債	1,681	2,042
その他	493,642	491,318
固定負債合計	39,122,317	38,443,617
負債合計	71,629,289	72,012,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,356,395	2,356,395
資本剰余金	1,613,256	1,613,256
利益剰余金	13,700,815	13,296,886
自己株式	△1,035	△1,037
株主資本合計	17,669,432	17,265,500
非支配株主持分	3,183	3,587
純資産合計	17,672,616	17,269,088
負債純資産合計	89,301,905	89,281,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,573,303	3,342,632
売上原価	3,421,226	2,901,931
売上総利益	152,077	440,700
販売費及び一般管理費	695,828	839,108
営業損失(△)	△543,751	△398,407
営業外収益		
受取利息	98	377
受取配当金	96	925
利子補給金	874	796
その他	259	713
営業外収益合計	1,329	2,812
営業外費用		
支払利息	230,928	546,169
支払手数料	1,129	38,343
持分法による投資損失	—	7,361
その他	18,866	17,900
営業外費用合計	250,923	609,774
経常損失(△)	△793,345	△1,005,369
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,000,000
特別利益合計	—	1,000,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△793,345	△5,369
法人税、住民税及び事業税	2,079	9,016
法人税等調整額	△220,633	5,526
法人税等合計	△218,554	14,543
四半期純損失(△)	△574,791	△19,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	446
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△574,791	△20,359

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失 (△)	△574,791	△19,912
四半期包括利益	△574,791	△19,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△574,791	△20,359
非支配株主に係る四半期包括利益	—	446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

2026年4月1日付で、前連結会計年度まで当社の連結子会社であった株式会社美松は、当社の連結子会社であるワールド・ブランド・コレクション ホテルズ&リゾーツ株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	47,080千円	46,128千円
のれんの償却額	34,788千円	34,788千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アセットマ ネジメント 事業	不動産事業	ホテル 運営事業	計			
売上高							
一時点で移転される財又はサ ービス	—	52,701	3,241,125	3,293,826	3,293,826	—	3,293,826
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	111,376	24,037	4,050	139,464	139,464	—	139,464
顧客との契約から生じる収益	111,376	76,738	3,245,175	3,433,291	3,433,291	—	3,433,291
その他の収益	—	138,525	1,486	140,012	140,012	—	140,012
外部顧客への売上高	111,376	215,264	3,246,662	3,573,303	3,573,303	—	3,573,303
セグメント間の内部売上高又 は振替高	28,793	—	19,349	48,143	48,143	△48,143	—
計	140,169	215,264	3,266,011	3,621,446	3,621,446	△48,143	3,573,303
セグメント利益又は損失(△)	△130,340	△1,325,204	1,120,353	△335,191	△335,191	△208,559	△543,751

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,559千円は、各報告セグメントに配分されない全
社収益及び全社費用の純額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収
入及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」
(企業会計基準委員会 移管指針第10号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の
譲渡等が含まれております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アセットマ ネジメント 事業	不動産事業	ホテル 運営事業	計			
売上高							
一時点で移転される財又はサ ービス	—	—	3,085,226	3,085,226	3,085,226	—	3,085,226
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	106,664	319	4,050	111,033	111,033	—	111,033
顧客との契約から生じる収益	106,664	319	3,089,276	3,196,260	3,196,260	—	3,196,260
その他の収益	—	144,885	1,486	146,371	146,371	—	146,371
外部顧客への売上高	106,664	145,204	3,090,763	3,342,632	3,342,632	—	3,342,632
セグメント間の内部売上高又 は振替高	72,718	—	33,750	106,468	106,468	△106,468	—
計	179,382	145,204	3,124,513	3,449,101	3,449,101	△106,468	3,342,632
セグメント利益又は損失（△）	△127,213	△918,164	931,542	△113,835	△113,835	△284,571	△398,407

- (注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△284,571千円は、各報告セグメントに配分されない全社収益及び全社費用の純額であります。
2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」（企業会計基準委員会 移管指針第10号）の対象となる不動産（不動産信託受益権を含む。）の譲渡等が含まれております。